

新型コロナウイルス感染症が疑われた呼吸器感染症の病原体調査(第二報)

微生物部

○山口佳織、宮原聖奈*、西田倫子
三浦美穂、吉野修司、杉本貴之

*現県立日南病院

1

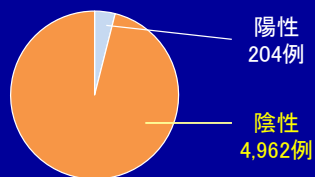
新型コロナウイルス発生当初の動き

年	月	日	出来事
2019	12	31	中国の湖北省・武漢市で原因不明の肺炎患者確認
2020	1	12	WHOが原因は新型コロナウイルスであると公表
	2	1	感染症法の指定感染症とする政令施行
	2	14	宮崎県衛生環境研究所にて検査開始
	3	4	宮崎県内で1例目を確認
	11	10	医療機関での検査開始

2

検査状況

(2020年2月14日～2020年11月9日)



症例件数: 5,166例

陰性件数: 4,962例

(当所で検査分のみ、陰性確認は含まず)

→ 約96%が陰性

3

目的

新型コロナウイルス検査陰性事例について他の呼吸器感染症の検索及び流行状況を検討する

4

調査対象

期間: 2020年2月14日～2020年11月9日

対象: 785例

COVID-19疑いとして採取された検体のうち有症状かつSARS-CoV2 PCR陰性で保存されていたもの

5

感染症発生動向調査事業との比較

対象: 2017年 591例

2018年 515例

2019年 447例

感染症発生動向調査事業で搬入された呼吸器感染症を含む有症状者のうち、対象病原体について比較を行った(細菌を除く)

6

方法

対象病原体	検査方法
RSウイルス ヒトメタニューモウイルス パラインフルエンザウイルス(1~4型) ヒトコロナウイルス(229E型、OC43型) ライノウイルス	マルチプレックスPCR法
インフルエンザウイルス(A型、B型)	リアルタイムPCR法
百日咳 パラ百日咳 <i>B. holmesii</i> 肺炎マイコプラズマ	4Plex リアルタイムPCR法

7

結果

8

年齢群別対象者数

	感染症発生動向調査			今回の調査
	2017	2018	2019	2020
0~19歳	518	377	347	80
20歳以上	73	138	100	705

9

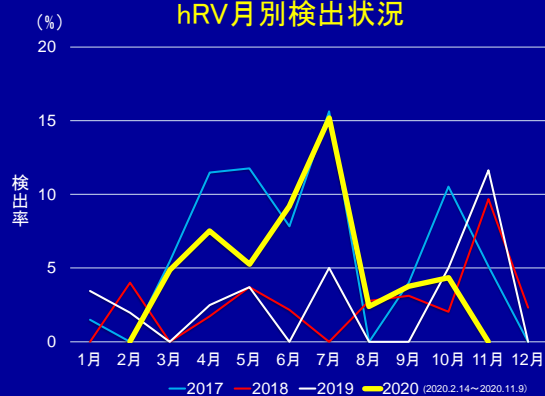
病原体検出状況

	感染症発生動向調査			今回の調査
	2017 (n=591)	2018 (n=515)	2019 (n=447)	2020 (n=785)
hRV	35	13	13	55*
肺炎マイコプラズマ	NT	NT	NT	15
hMPV	8	2	2	14
influenza virus	170	92	88	4
HCoVOC229E	0	3	0	4
HCoVOC43	2	1	0	2
百日咳	NT	NT	NT	2
パラ百日咳	NT	NT	NT	1*
<i>B. holmesii</i>	NT	NT	NT	1
PIV1~4型	12	4	8	0
hRSV	6	6	2	0

NT : Not Tested *: hRVとパラ百日咳菌の混合感染1例を含む

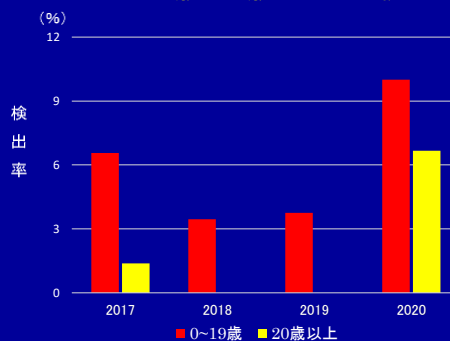
10

hRV月別検出状況

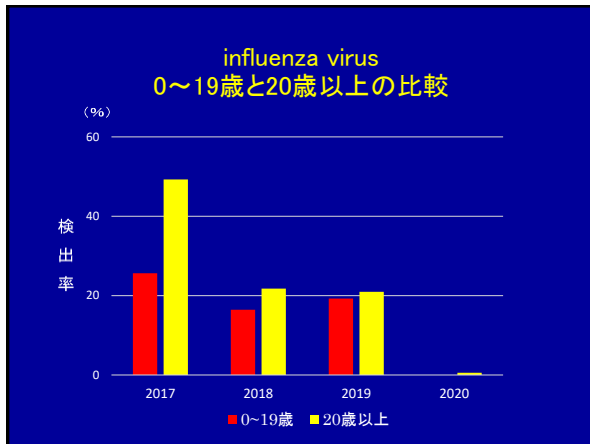


11

hRV 0~19歳と20歳以上の比較



12



13

考察 ①

- 新型コロナウイルス感染症が疑われた症例には hRVや肺炎マイコプラズマ、hMPV等、他の病原体が関与
- 今回の調査ではhRVが多く検出

14

考察 ②

- influenza virus の検出が少なかった理由
対象期間において流行がみられなかった
医療機関での検査実施
- 成人における新型コロナウイルス感染症の鑑別
にはhRVや肺炎マイコプラズマ、hMPVにも留意

15